

首都圏本部

「目黒」と「メグロ」をテーマにしたイベントを開催

大崎営業統括センターでは、カワサキモータース(株)のご協力および宇都宮統括センターとの連携により、「目黒」と同社のバイクブランド「メグロ」をテーマにしたイベントを、9月1～30日に開催しました。「目黒とメグロの回顧展」「メグロゆかりの地スタンプラリー」「メグロ生誕の地ウォークラリー」の3つのイベントを行い、多くのお客さまに楽しんでいただきました。



©カワサキモータース

横浜支社

相模原市と連携し「鉄×蓋プロジェクト」を展開

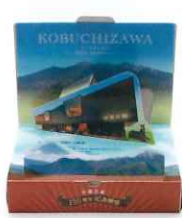
湘南・相模統括センターでは、相模原市と連携して、沿線地域の魅力発信と活性化を目的にオリジナルデザインマンホール蓋を制作し、8月2日から橋本駅北口 ペデストリアンデッキ下に設置しています。同市の伝統である「相模の大風揚げ」と相模線のE131系をメインに、当センター社員がデザインしました。世界に1つしかないマンホール蓋を見つけに、ぜひ橋本駅へ足をお運びください。



八王子支社

北杜市と連携し、小淵沢駅開業120周年記念イベントを開催

10月5日、「小淵沢駅開業120周年×北杜市制20周年記念イベント」を同駅で開催しました。地元の高校生の皆さまによるパフォーマンスやJR東日本甲府エリア音楽隊によるアンサンブルコンサートをはじめ、(株)丸政と共同で作製した「小淵沢駅120周年記念弁当」の販売など、盛りだくさんの催しを行い、多くのお客さまにお楽しみいただきました。



大宮支社

小山駅で「ちょい飲み 駅角おやま」を期間限定営業

9月19日～21日、26～27日の5日間、JR東日本研究開発センターによる駅の空きスペースの活用を図る実証実験として、小山駅在来線改札内イベントスペースに、立ち飲み屋「ちょい飲み 駅角(えきかど) おやま」を期間限定でオープンしました。「駅で地元をつまむ」をコンセプトに、地酒やおつまみを少量から販売。電気・通信工事で使用したケーブルドラムや鉄道古物で装飾した店内は期間中、多くのお客さまで賑わいました。



高崎支社

前橋駅で開業140周年イベントを開催

8月20日に開業140周年を迎えた前橋駅で、記念イベントを8月24日に開催しました。同駅の歴代駅長を招いたオープニングセレモニーでは「両毛線全通135周年記念ロゴヘッドマーク」をお披露目し、その後の出発式で列車に装着。記念列車をにぎやかに見送りました。今後も県都の玄関口として、市民の皆さまに末永く愛される駅をめざします。



水戸支社

JR千波社宅で消防・救助活動訓練を実施中

10月3日より約3カ月間、昨年度に廃止となったJR千波社宅1～5号棟を使用して、水戸市消防局による訓練が行われました。この訓練は、消防隊員の技術向上および連携の強化などを目的としており、市民の生命や財産を災害などから守るとともに、当社と地域社会との連携につながると考えています。



千葉支社

館山エリアで電動トゥクトゥク 「Emobi (えもび)」のレンタルを開始

10月1日より、館山エリア（駅レンタカー館山営業所）で電動トゥクトゥクのレンタルを開始しました。最高速度は45km/h、1回の充電で約40kmの走行が可能です。同エリアの観光では、駅からの二次交通手段に課題があった中で、乗ること自体がアクティビティとなるほか、館山の景色や街並みにマッチし、環境にも優しいモビリティツールとして導入しました。ぜひ館山を訪れた際は、電動トゥクトゥクですばらしい景色や観光スポットをお楽しみください。



長野支社

小海線でアクティビティ優先車両を試行運行

7月20～21日、8月24～25日、9月28～29日、夏の信州観光キャンペーンに合わせて長野県佐久地域振興局と連携し、「小海線アクティビティ優先車両」を試行的に運行しました。通常の2両編成に1両を増結し、車内には地域のアクティビティガイドが乗車して沿線の見どころなどを紹介。また、事前申し込みを行うことで、自転車をそのまま車内に持ち込み可能としました。首都圏の駅などでも宣伝展開を行い、多くのお客さまに小海線の旅を楽しんでいただきました。



東北本部

山形新幹線 福島～新庄間で全面運転再開

山形新幹線では7月25日の大雨により、同日夕方頃から福島～新庄間で運転を見合わせ、福島～山形間は翌日に運転を再開しました。山形～新庄間では複数箇所被害を受けましたが、グループ会社やパートナー会社の協力により昼夜を問わず復旧作業を行った結果、8月1日に山形～大石田間で運転を再開。そして8月10日には大石田～新庄間で運転を再開（全面運転再開）し、お盆を前に夏の最繁忙期の輸送を確保しました。



盛岡支社

盛岡ターミナルビル(株)

鉄道会社・駅ビルとスポーツチームが つくる新たな盛岡の魅力

盛岡駅周辺の回遊を促してにぎわいを創出することを目的に、8月24日に盛岡駅および「フェザン」で、プロバスケットボールチームの(株)岩手ビッグブルズ、盛岡新幹線運輸区、盛岡駅ビル「フェザン」、IGRいわて銀河鉄道が協働した「開幕直前！岩手ビッグブルズ応援デー」を初開催。「フェザン」で開催した選手のトークショーには、ファンの皆さまを中心に約150名が訪れ、新たな顧客創造につながりました。今後も連携を行い、駅周辺の活性化をめざします。



秋田支社

「設備作業体験&East-i撮影会」を開催

7月29日、設備業務の魅力発信を目的とした「設備作業体験」と、秋田支社では初となる「East-i撮影会」をセットにしたイベントを大曲駅で開催しました。「JRE MALLチケット」で限定6名にイベント商品として販売し、参加された皆さまは手動でのポイント転換や投排雪保守用車の運転など、普段することのできない体験に目を輝かせていました。



新潟支社

羽越線を走る「海里」が 運行開始5周年を迎えました

羽越線は9月下旬の大雨により村上～間島間で道床流出が発生し、運転を見合わせていましたが、懸命な復旧作業の結果、予定を早め10月5日に運転を再開しました。また、のってたのしい列車「海里」は2019年10月のデビューから5周年を迎え、11月9日に新潟駅で「海里5th Anniversary イベント」を開催しました。これからも、羽越路の魅力をお客さまに発信していきます。



御茶ノ水駅の中央・総武緩行線ホームでホームドアの使用を開始

9月26日の初電より、御茶ノ水駅の中央・総武緩行線ホームでホームドアの使用を開始しました。御茶ノ水駅周辺には学校や多くの病院が立地し、1日約8万6,000人（2023年度乗車人員）のお客さまに利用いただいております。ホームドアの設置によってお客さまの安全性が向上しました。同駅では引き続き、中央快速線へのホームドア設置を予定しています。



阪急うめだ本店の鉄道イベントで山形新幹線をPR

8月2日、大阪の阪急うめだ本店で開催された「鉄道模型フェスティバル2024」に山形新幹線車両センター社員が参加。オファーを直接受けての百貨店イベントへの出展は、新幹線職場として初の試みでした。現役の車両メンテナンス社員によるトークショーでは、E8系車両や山形エリアの魅力紹介、クイズ大会などを実施。日頃当社に触れる機会の少ない関西エリアのお客さまに、JR東日本の新幹線の魅力を存分にアピールしました。



「BE@RBRICK (ベアブリック) 東京駅丸の内駅舎モデル Light Up Ver. 100% & 400%」を販売中

12月20日の東京駅開業110周年を記念し、美しくライトアップされた東京駅丸の内駅舎モデルの特別なBE@RBRICKを、11月1日よりTRAINIART JRE MALL店にて数量限定で販売しています。クリアなボディにライトアップされた東京駅丸の内駅舎を表現し、夜空を優しく照らす灯りをイメージしたグラデーションを施した、幻想的な雰囲気の商品です。



BE@RBRICK TM & © 2001-2024
MEDICOM TOY CORPORATION. All rights reserved.
JR東日本商品化許諾済

都内最大級の大型高精細LEDビジョンを設置

当社が運営する貸会議室施設「ステーションコンファレンス東京」のメインホールに、285インチの大型・高精細の「LEDビジョン」を設置し、10月より貸出を開始しました。250インチを超える高精細LEDビジョンの常設は、都内貸会議施設の中では最大級の規模です。インパクトのある映像をバックにした会議やプレゼンテーションに、ぜひご活用ください。



開業60周年を記念し、開業時塗色(ラッピング)列車の出発式を実施

9月15日、羽田空港第2ターミナル駅において、開業60周年を記念した開業時塗色列車の出発式を行いました。列車は沿線の品川区立八潮学園の吹奏楽部の皆さまによるファンファーレの後、駅長の出発合図を受け、多くのお客さまや鉄道ファン・取材陣の皆さまに見守られながら浜松町駅へ向けて出発しました。



盛岡の魅力を伝えるスイーツを地元大学生と開発

10周年を迎えた「FES" AN×STUDENTSスマイルチャージいわてプロジェクト」では今年度、岩手県立大学および「銀河堂1890 Sweets&Bakery」と協働し、「盛岡での旅を思い出すスイーツ」をテーマに、ミニサイズのタルトレット「たるとぺっこ」の開発を進めてきました。10月5日に盛岡駅ビル「フェザン」で開催した完成販売会では、学生自らが販売員を務め、開発に込めた思いを直接お客さまに届けました。

